

The 2 Chome Times 平成28年2月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO213.

2016・2・25.

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス2月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明

<http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

★木彫作家・一井弘和展 ～彫刻的自然観～に行ってきました



昨年の年末、タイムズ12月号でも取り上げましたが、ストリートミュージアムに収蔵されている「虹色浮遊像」の作者一井弘和先生の個展が1月30日、31日と開かれ、ギャラリートークもあった30日(土)に会場の奈良ホテルに行ってきました。奈良ホテルは写真でご覧になれるように明治42年に奈良公園に誕生した由緒正しき優雅なホテルです。その歴史を感じさせる建物と一井先生の作品が非常にマッチしてギャラリーを訪れるお客様も大変多く、個展は大盛況でした。楽しみにしていたギャラリートークでは一井先生の作品を多く写真に撮られ、その作品の違った魅力



を引き出しておられる写真家平田雅路氏の紹介や、一井先生の後輩にあたり、仏像などにも大変造形が深い吉水快聞(ヨシミズカイモン)氏との間で仏像や彫刻の非常に



興味深いお話が聞けて大満足でした。例えば、「世界で一般的な石彫が、なぜ日本では木彫なのか」や「平安や鎌倉時代に彫刻に使われていた道具類はなぜ残らないのか」などなど、聞けば聞くほど興味が広がるトークでした。先生の作品は色使いも優しくて女性ファンも多いそうで、これからの先生の御活躍がますます期待できます。今回、この



個展を見逃した方も、次回の個展では是非、その素晴らしさを味わって下さい！

★戦後70年 戦後三宮の都市形成について

平成28年2月4日ザ・ファーストの定例勉強会が行われました。今回のテーマは“戦後三宮の都市形成について”ということで、人と防災未来センターの震災資料専門員である村上しほり様にお越し頂き講演して頂きました。大戦中、神戸は1945年3月17日西神戸の、6月5日東神戸の大空襲で市の7割余りを消失したそうです。空襲の被害は甚大で、その後進駐軍の接收もあり、街並みがガラッと変わっていきます。元町と高架下に闇市が形成されましたが、その後撤去されます。終戦直後からの復興の後、1952年にセンター街にネオンアーチができ、そのころから神戸一番の中心地で市民が多く集うエリアになりました。1975年の市街地改造再開発事業でさんプラザ・センタープラザ・センタープラザ西館の3棟ビルが建設されました。そしてポートピア81の開催によって国際マーケットの移動や、サンパル・サンピア・ツイン雲井・サンシティの改造計画が進み、三宮東地区再開発事業が行われました。商業機能を改善し、神戸の玄関としてふさわしい街創りを行ってきました。都市とは多様な人々の交流のもと、様々な文化が生まれる場所である。村上さんは「三宮ひと・街創り協議会」が進めている「神戸・三宮 戦後70年記念誌『明日への飛翔』」を編集する仕事もされておられますが、今昔の写真なども少なく、資料を探す事がだんだん難しくなっているのだそうです。戦後の動乱期について知っておられる方々もご高齢ですので、今のうちに取材しておかなくてはという気概だそうです。お家の中で眠っている写真、資料などがある方はまたお知らせ頂ければ大変助けになるのではと思われまので、また事務局までお知らせください。



★「震災復興メモリアル・街ぐるみ献血推進デー」 今年も実行しました！

震災を忘れないためにも、そして震災時の様に、本当に血液を必要とおられる方々の御役に立てる様に今年も1月15日(金)に街ぐるみで人々に献血への御協力をお願いし、啓発する活動を行いました。寒い中、多くの街衆が参集して下さり、献血ルームの方々と共に、通行されている人々にお願いをしました。その結果、1月15日から21日までの1週間で献血受付数339名、採血数286名と多くの方々から尊い命への手助けを得ることができました。これも継続して献血の必要性を認識し、賛同して頂いた多くの街衆の御協力のおかげです。関係者の方々に改めて御礼を申し上げると共に、皆様にも街にある献血センターへ足を運んで頂ける様に宜しくお願い致します。

三宮センタープラザ献血ルーム

〒650-0021 神戸市中央区三宮町2-11-1 センタープラザ西館3階 Tel&Fax 078-391-7070

<http://www.hyogo.bc.jrc.or.jp/>



★神戸市立博物館 特別展 須磨の歴史と文化展—受け継がれる記憶—

須磨と言えば現在では離宮公園があり、水族館があり、夏の須磨海岸がありと、楽しいイメージがありますが、



すが、歴史的に振り返ると、「源氏物語」などの文学の舞台であったり、源平の古戦場、菅原道真が九州大宰府に左遷させられる際に須磨に立ち寄った名残が残されている網敷神社等、多くの歴史的遺産があります。今回、この特別展ではそういった須磨の奥深い魅力が紹介されています。印象的だったのは、写真の弘法大師像で、外見のみならず内面の精神性までが的確な線描によって描き出されています。密教の教えを師匠から弟子に授ける際にこの絵画は懸けられたそうです。他にも不義密通により須磨に流された「光源氏」が描かれている「源氏物語絵色紙帖」はその色使い



に当時の貴族達の華やかな生活が想い描け、遙か時空を超えてその世界に自身が迷い込んだような気になるほどのものでした。これ以外にも国宝1件・重要文化財7件を含む約150件の貴重な資料が展示されていて、時間が経つのを忘れてしまいそうです。どうぞ皆様もこの機会に歴史の深さを改めて実感できるこの特別展に足を運んで下さい！！ 特別展は3月21日(月)迄まで開催中

神戸市立博物館：〒650-0034 神戸市中央区京町24番地 Tel. 078-391-0035

休館日：月曜日(3月21日は開館) 開館時間：10:00~17:00(入館は16:30迄)

★編集後記

三宮センター街1丁目に期間限定の神戸ワインの直営ショップが誕生しました。期間は2月6日から5月5日までの間です。センター街2丁目の組合員様には年に一度、神戸ワインを使った川西英先生ラベルのオリジナルワインお配りしておりますが、その魅力をこのショップを直に訪れて頂き、再認識頂く絶好の機会です。一階では神戸ワイン全種類・神戸ブランデー・ソムリエナイフ・ワイングラス・



ワインに合うチーズ・スイーツなどが販売され、2階では音楽と共にワインをお楽しみ頂けるフロアー(2階は平日は



17:00から、土日祝日は11:00からオープン)になっており、週末にはワイン講座やミニジャズライブなどのイベントも予定され、これ以上ない程の中身の濃い充実度になっています。お洒落な街、神戸に音楽とワイン、素敵な響きですよ。これは訪れない理由がありません！是非お立ち寄り下さい！！

神戸ワイン三宮店：中央区三宮町1-6-21 お問い合わせ：Tel.078-991-3916

(三宮店限定の2005年産シャルドネワイン)

(神戸みのりの公社)